

広報

さよう

3

Vol.234
令和7年(2025)

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

Sayo Town Public Relations

子どもはパニック 鬼はタジタジ

節分に合わせて2月3日に各保育園で「節分豆まき」が行われ、園児たちは突然現れた鬼に懸命に立ち向かって退治し、みんなに幸せが来ますようにと願いを込めました（関連ページ5ページ）。



地域づくり協議会を「本気」で考える一日に

2月11日にさよう文化情報センターで「さようみん活フォーラム2025」を開催しました。参加者は、地域づくり協議会が「みん活」を経て、どう変化してきたのか、これからどんなことが必要なのかを「本気」で考えた一日となりました。

「みん活」とは、「みんなの地域づくり協議会活力向上プロジェクト」の略称で、各地域づくり協議会（以下「地域協」）の組織や活動を見直し、地域の未来を共に創造するための取り組みです。

令和元年度にみん活を開始して以来、各地域協では振り返りの中でさまざまな課題が見えてきました。そこで、普段はあまり交流のない地域同士が意見交換や情報共有を行い、新たな発見とともに地域の在り方を再考するきっかけとしてフォーラムを開催しています。このフォーラムは年に1回開催され、今回で5回目となります。

第1部
ヒアリング調査報告会

町は昨秋、みん活以降の実態とみん活前後の変化をヒアリング調査しました。その結果、組織構造や女性の参加など、いくつかわり化をもたらしましたことがわかりました。また、地域ごとにめざす方向性や抱える課題は異なることが明らかになりました。

報告した浅見雅之アドバイザーは、「地域協を単に比較するのではなく、なにより地域住民が暮らしやすい環境を実現することが大切です。これからは地域間の連携を



各グループに分かれて活発な意見交換が交わされました



参加者は真剣に耳を傾けました 海内地域協が計画策定の事例発表

さらに深め、知恵を共有し、良い取り組みを互いに取り入れる関係が求められます」と、次のステップへのアドバイスを送りました。

第2部 分科会

続くプログラムでは、ヒアリング調査の結果を踏まえ、各地域協の共通課題である4つのテーマについて「分科会」を開催。課題の共有と理解を深めるため、参加者は次のテーマについて意見を交わしました。

- A みんなで話せる場・会議を続けていくにはどうしたらいい？
- B 活動の将来ビジョンをみんなで共有するにはどうしたらいい？
- C 持続可能な組織に変化していくにはどうしたらいい？
- D 身の丈に合った活動へ見直ししていくにはどうしたらいい？

各地域協の役員や自治会長、まちづくりに関心のある約100人が、それぞれ興味のある分科会に参加。真剣な悩みの相談や、和や



約100人が地域協の未来のために集まりました

かな笑いを交えた交流の中、あっという間に時間は過ぎ、いずれの分科会も有意義な対話に花が咲きました。

各分科会の報告を聞いた、徳久地域づくり協議会の尾上茂会長（林崎）は、「男性中心の役員体制の中で、女性の意見をより積極的に取り入れることが、今後の運営にとって一層重要だと実感しました。他の地域から得た貴重なヒントを、ぜひ今後の参考にしていきたい」と、確かな手応えを感じていました。

Pick up 島根大学生の空き家調査報告会
さよラボフォーラムを開催しました

島根大学が教育・研究の拠点として、令和4年に江川ふれあいホール（豊福）に設置した「さよラボ（佐用サテライトラボトリー）」で、町と同大学による空き家に関する調査の報告会を開催しました。



約90人が集まり、会場がいっぱいとなりました

調査は、全自治会長対象の実態調査と空き家所有者調査、さらに江川地区の西河内・豊福・東中山集落で、学生が1か月間生活しながら目視と世帯訪問による調査が行われました。調査を行った同大学の谷村将也さんは「みなさんが快く話を聞いてくれて、楽しく生活をしながら調査を進めることができました。空き家問題は課題が山積みだが、今回の報告をきっかけに集落でこの問題に向き合い、より豊かで幸せな暮らしにつながればうれしい」と、参加者にメッセージを残しました。



島根大学4年生
谷村将也さん



400年続く厄払いの儀

2/2 瑠璃寺大護摩、鬼追会式



鬼や天狗に鎗や小槌で頭を撫でてもらい厄を払いました

瑠璃寺で400年以上続くとされる節分行事「大護摩・鬼追会式」の法要が執り行われました。

大護摩に護摩木をくべる法要の後、本堂では、天狗や鬼による厄払いの「鬼追会式」が行われました。参拝した井藤花音さん（上三河）は、「4月から小学校でいっぱい勉強ができますようにお願いしました」と、笑顔で話しました。

積み上げた努力が実を結ぶ

2/2 高校生カフェ第4弾



4回目になると笑顔で接客ができるようになりました

佐用高校生が、姫新線の利用促進を目的とした「高校生カフェ」を、駅前のコバコ Work&Camp で開催しました。

姫新線で通学する同校3年生でJRC部の中村愛吏部長は、「今回は初めて完売できた。少しでも姫新線の利用促進に貢献できたかな」と、これまでの取り組みに手応えを感じていました。

地域と家族の安全を願う

1/26 田此日限地藏尊で初護摩祈願



地域住民50人が早朝から集まりました

田此日限地藏尊奉賛会は、絵馬や正月飾りなどを燃やして家内安全や厄除けを祈願する「初護摩」を田此日限地藏尊境内で行いました。

訪れた坪内洋子さん（田此）は「家族がみんな健康で一日一日が楽しく過ごせるようお願いしました」と、冷えた手を護摩焚きの火で温めていました。

改修中も営業しています

1/23 道の駅宿場町ひらふく仮設営業



従業員一同みなさまのお越しをお待ちしています

道の駅宿場町ひらふくは、4月のリニューアルオープンに向け改装中です。

改装中は、仮設店舗で野菜や花、特産物を販売し、屋台ではホルモン焼きうどんや神戸ビーフの串カツを販売中です。生まれ変わる「道の駅宿場町ひらふく」を町民みなさんと盛り上げましょう。

町の誇るべき学校給食

町給食センターの写真が書籍に採用



書籍への掲載を喜ぶ給食センターの調理員のみなさん

町学校給食センターの給食写真が、学習書籍「ザ・給食」に採用され、発行されました。

同センターのInstagramが編集者の目に留まり、突然舞い込んだ吉報。調理員の河本朗子さんは「子どもたちに喜んでもらえるよう、毎日一生懸命給食を作っている成果かな」と、仲間と喜びを分かち合いました。

自分の中の悪い鬼も退治

2/3 各保育園で節分の豆まき



鬼登場で大パニックになりながらも必死に退治しました

節分に合わせて各保育園では「豆まき」が行われ、丸めた新聞紙やボールを豆に見立て、「鬼は外！福は内！」と鬼を追い払いました。

上月保育園では、「自分の中の悪い鬼も追い払いましょ」と先生が園児たちを鼓舞。泣き叫びながら必死に豆を投げ、鬼を退治した園児たちは、どこか誇らしげでした。

日々の成果を日本語で披露

1/31 第2回佐用日本語学校スピーチ大会



最優秀賞を受賞し、笑顔で表彰状を受け取るモウさん（右）

佐用日本語学校は、学生が日本で学んだ成果を発表する「第2回佐用日本語学校スピーチ大会」をさよう文化情報センターで開催しました。

上級クラスで最優秀賞を受賞したミャンマー出身のモウさんは、「私一人の力ではなく、先生のおかげでうまくスピーチすることができました」と、流ちょうな日本語で感謝を伝えました。

笹ヶ丘公園の未来を育む

1/26 笹ヶ丘荘と笹ヶ丘公園で植樹



斜面での手作業の植栽も、将来のためにと力が入ります

久崎地域の有志10人は、笹ヶ丘荘や笹ヶ丘公園がより一層にぎわうことを願い、同公園内で桜ともみじの植樹を行いました。

黙々と作業を行った前川勝芳さん（小赤松）は、「将来、笹ヶ丘公園が美しくなるのを見るのが今から楽しみ」と、息を切らしながらもにこやかに語っていました。



若者グループ活動応援事業

活動グループの活動報告会を開催します

monthly information



今年度から始まった「佐用町若者グループ活動応援事業」では、採択されたグループが「佐用町をより良くしたい」という思いを胸に、約半年間にわたり活動を展開してきました。今回、その成果を発表する報告会を開催しますので、ぜひご参加ください。

- 開催日 3月29日⑤ 午前10時～
- 場所 さよう文化情報センター ギャラリー
- 報告内容 取り組んできたことや、これからやりたいことなどを発表します。
- 学生チャレンジグループ
 - ・アニマルセラピーで世代間交流
 - ・ボランティア活動を通じた世代間交流
 - ・木でできたマグネットを作成・配付
- 若者グループ
 - ・移動式ショッピングモールを作成
 - ・「星」をテーマにしたイベントを開催



ドッグセラピーでデイサービスに通う児童と交流しました

企画防災課 ☎82-0664

西はりま天文台だより

第46回 オリオン大星雲で生まれる星たち



雲のように広がっているのが「オリオン大星雲」です

春が近づくこの時期は、冬を代表するオリオン座が見やすい季節です。1等星が2つ、2等星が5つあり、とても華やかで見つけやすい星座の一つです。特に、等間隔に並ぶ「オリオンの三つ星」が印象的です。

この三つ星の下の「小三つ星」に望遠鏡を向けると、星の集まりと、その周囲に広がる雲のようなものが見えます。写真に撮るとピンク色の「オリオン大星雲」が浮かび上がります。ここは星の材料となるガスが集まり、新たな星が生まれている場所です。

兵庫県立大学 西はりま天文台
准教授 本田敏志



重い病気や障がいのある人を対象に

通院の交通費を助成します

monthly information



重い病気や障がいのある人を対象に、町外の医療機関での治療やリハビリのための通院にかかる交通費の一部を助成します。助成を受けるには申請が必要です。期限までに手続きをお願いします。

- 対象者
 - ・特定疾患医療受給者証や小児慢性特定疾患医療受給者証の交付を受けている人
 - ・人工透析を受けている慢性腎不全の人
 - ・18歳未満で、身体障害者手帳1、2級や療育手帳A判定に該当する人
 - ・精神障害者保健福祉手帳1、2級に該当する人
 - 助成対象となる診療
 - 町外医療機関での治療やリハビリ
 - ※風邪やけがなどの一般診療は対象外
 - 助成額 往復の交通費の半額相当分
 - 対象期間 令和6年3月から令和7年2月の受診分
 - 申請方法 健康福祉課または各支所、出張所に備え付けの申請用紙に、通院医療機関で証明を受けて申請してください。証明に係る費用は、各医療機関へお問合せください。
 - 提出期限 3月31日⑤
 - 提出期限 健康福祉課、各支所、出張所
- 健康福祉課 ☎82-0661



障害福祉サービスなどの施設を利用する人を対象に

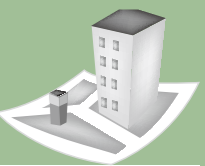
通園の交通費を助成します

monthly information



障害福祉サービスなどの施設の利用者を対象に、通園にかかる交通費の一部を助成します。助成を受けるには申請が必要です。期限までに手続きをお願いします。

- 対象となる障害福祉サービス
 - 生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、児童発達支援、放課後等デイサービス、地域活動支援センター
 - 助成対象となる交通費
 - 片道2キロ以上を自家用車や公共交通機関などを利用して通園した交通費
 - 助成額 往復の交通費の半額相当分
 - 対象期間 令和6年3月から令和7年2月の通園分
 - 申請方法 健康福祉課または各支所、出張所に申請用紙を設置しています。申請には振込先の口座がわかるもの（初めて利用する人）と、交通手段がわかるもの（定期券など）が必要です。
 - 提出期限 3月31日⑤
- ※該当者への申請案内は送付していません。申請を希望する人は、期限内に手続きをお願いします。
- 健康福祉課 ☎82-0661



桜まつり

場所 笹ヶ丘公園・ドーム



3
30
SUN

10:00 ~ 14:00
(雨天決行)

☎商工観光課 ☎82-0670

ステージイベント

- 上月太鼓
- 佐用ギター・マンドリンアンサンブル
- リトルボックス
- 佐用高校琴部・邦楽同好会

大道芸

プロパフォーマーの圧巻のステージをご覧ください。

タニケンさんファミリーコンサート

アコーディオン奏者まいこさんと体操のお姉さんも登場する、おなじみのステージ月

ライトアップ

- 期間 3月下旬～4月中旬(予定)
- 時間 午後6時～10時



ふれあいバザー

地元自治会や商店などが、グルメやスイーツ、特産品を販売します。



期限内の確定申告と納税をお願いします

確定申告は3月17日☎までです

monthly information



令和6年分所得の申告相談会場の開設は3月17日☎までです。申告が必要な人は期限内に申告してください。期限後は、税務課で申告を受け付けることはできませんのでご注意ください。期限後の相談は税務署へお願いします。

■確定申告と納税は期限内に！

確定申告は、提出だけでなく納税も期限内に行う必要があります。また、個人事業主の人は、消費税および地方消費税も期限内の納付をお願いします。

納期限

- ・所得税、復興特別所得税 **3月17日☎**
- ・消費税、地方消費税 **3月31日☎**

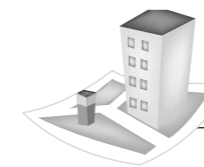
■e-TAXでいつでも申告ができます

e-TAXなら自宅で24時間いつでも申告が可能です。今年からスマホ申告がしやすくなっているので、ぜひご利用ください。



◀e-taxホームページ

☎税務課 町税対策室 ☎82-0662
相生税務署 ☎0791-23-0231



一緒に脳の活性化を

「頭と体の健康教室」参加者募集

monthly information



仲間と楽しく交流しながら、「読み・書き・計算」で脳を活性化し、「いきいき百歳体操」で無理なく体を動かす教室です。いつまでも住み慣れた地域で元気に暮らせるために健康習慣をはじめましょう。



●開催日時

5月13日☎～令和8年3月24日☎までの
毎週火曜日
午前9時30分～11時

●場所

●内容

- ・専用のテキストを使った脳のトレーニング
- ・いきいき百歳体操

●対象

町内の65歳以上の人で、自分で会場へ来ることができる人

●定員

20人程度(初めての人を優先します)

●費用

月額2,300円(テキスト代など)

●申込み

4月21日☎までに、電話でお申込みください。

※体験教室は3月28日☎までです。

☎地域包括支援センター ☎82-2079

3月のスマホ教室と相談会

☎情報政策課 ☎82-0690

●日時 3月10日☎、11日☎

●場所 役場本庁本館1階

●内容

(入門編) スマホを安心・安全に使う
(基本編) インターネットを使う
(相談会) 困りごとや使い方

●内容 10:00～ スマホ教室(入門編) 相談会

13:30～ スマホ教室(応用編) 相談会

●定員 各回10人

●予約先 ドコモショップ宍粟店

☎0120-630-068





健康カレンダー

もの忘れ・心のケア相談など

場所：町保健センター

月日	内容	時間
3/27 4/3	デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)	13:30～15:30
3/13	こころのケア相談 (要予約)	13:00～
3/13	アルコール相談 (要予約)	13:30～

健康福祉課 ☎82-0661

場所：龍野健康福祉事務所

月日	内容	時間
4/4	こころのケア相談 (要予約)	13:00～15:00
3/11 4/8	エイズ・肝炎相談 (要予約) HIV・肝炎ウイルス検査 (要予約)	13:00～14:30
3/10 4/14	専門的栄養相談 (要予約)	10:00～11:30

龍野健康福祉事務所 ☎0791-63-5687

場所：町保健センター

月日	内容	時間
3/26	認知症家族の会「ひまわり」	13:30～15:30

地域包括支援センター ☎82-2079

column

地域包括支援センターだより

『地域のちから』で助け合い



☎82-2079
地域包括支援センター

「福祉の知識がないから、手助けしたいけれどできない」。そんな声をよく耳にします。

では、支援を必要としている人は、どのようなことを望んでいるのでしょうか。福祉サービスについて知りたい人もいます。その場合は、行政や専門のサービス機関が対応できます。

一方で、「今日も電気がついていない」「元気に散歩しているな」といった日常の様子に気づいたり、「ゴミが重そうだから手伝おうか」と声をかけたりすることは、サービス機関には難しいことです。地域で暮らしている人だからこそ、気づけることがたくさんあります。こうした小さな気配りは、災害時にも大きな力となるでしょう。

『特別なこと』をするだけが支援ではありません。道で会ったときに挨拶を交わし、相手の体調を気遣うことも支え合いです。無理なく続けられることをしながら、ときにはイベントも一緒に楽しむ——そんな温かい地域になっていけるといいですね。

場所：町保健センター

月日	内容	時間
3/28	がんサロン・さよう(予約不要) がんピアサポート (個別相談・要予約)	14:00～16:00

はまなすの会 ☎079-277-2764
健康福祉課 ☎82-0661

赤ちゃんとお母さん

場所：さよう子育て支援センター

月日	内容	時間
3/10	0歳児教室(7か月～1歳未満)	9:50～11:00
	0歳児教室(2か月～6か月児)	10:20～11:30

健康福祉課 ☎82-0661

休日救急当直医 3月

月日	医療機関名	電話番号
3/9	岡尾医院	78-0034
3/16	尾崎病院	77-0221
3/20	佐用中央病院	82-2154
3/23	佐用共立病院	82-2321
3/30	佐用中央病院	82-2154



食を通じた健康づくりを

いずみ会リーダー養成講座 受講生募集

いずみ会は、食を通じた健康づくりに関心のある人が、地域の食生活改善に取り組むグループです。栄養の知識を学び、ご自身やご家族、地域の健康づくりに役立ててみませんか？料理や食べることが好きな人、食や健康に興味がある人も大歓迎です。



●募集対象

町内在住の人

●募集定員

10人

●費用

3,000円(テキスト代含む)

●講座内容

	開催日	時間	内容	調理実習
1	5月28日Ⓞ	9:30～12:00	開講式 オリエンテーション お楽しみティータイム	
2	6月25日Ⓞ	9:30～12:30	健康と食 ～生活習慣病予防の食事～	梅干し作り
3	7月23日Ⓞ	9:30～12:30	健康と食 ～暮らしの中の食品衛生～	野菜たっぷり米粉ピザ
4	8月27日Ⓞ	9:30～12:30	運動と栄養 ～腰痛予防体操～	
5	9月24日Ⓞ	9:30～12:30	食文化の伝承① ～おふくろの味に挑戦～	鯖寿司
6	10月22日Ⓞ	9:30～12:30	健康と食 ～出汁を効かせて減塩作戦～	プロに学ぶ家庭料理のコツ
7	11月26日Ⓞ	9:30～13:00	「佐用風土」を学ぼう ～視察研修～	
8	12月9日Ⓞ	9:30～12:30	食文化の伝承② ～しめ縄リースでお正月を迎えよう～	地元食材でおせち料理
9			8～12月 活動体験	
10	令和8年 2月25日Ⓞ	9:30～12:30	修了式・座談会 ～自分らしく生きるために～	

●申込み

健康福祉課の窓口または電話で申込みいただくか、以下の二次元コードからお申込みください(4月30日Ⓞまで)。



◀申込みはこちらから

町いずみ会事務局(健康福祉課内)

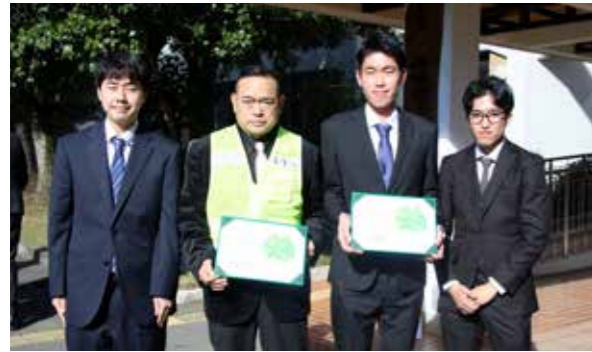
☎82-0661



おめでとうございます

長年にわたり、社会、公共に力を尽くしたかたを紹介します

兵庫県くすのき賞



さよう防災リーダー連絡会

地域や学校で行われる防災研修に講師やボランティアとして参加し、町民の防災意識の向上に尽力されました。

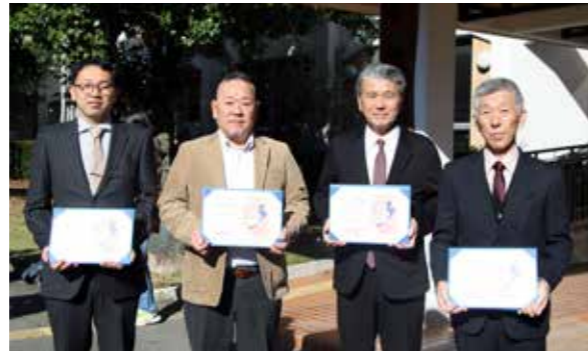
チャコネット

平成 21 年災害の支援活動をきっかけに、久崎地域で学生ボランティアとして地域活性化に貢献されました。

【写真】

中央左：同会副会長の湯浅康晴さん（久崎）
その他：チャコネットで活動する学生

兵庫県こうのとり賞



【写真左から】

川田 嘉男さん（中町）

四方田 康次さん（栄町）

久保 正彦さん（豊福）

碧木 栄基さん（駅前）

小学生の防災学習で、平成 21 年の災害で自身が経験したことを伝えるボランティアとして活動し、地域防災力の向上や次世代への継承に尽力されました。



百歳 バンザイ

100 歳の誕生日を迎えたかたを紹介します。今月は、大正 14 年 1 月生まれのかたです。



長田 静子さん（櫛田）



水見 あや子さん（西山）



山口 榮さん（仁位）

図書館

今月の新着図書から司書がおすすめする 3 冊を紹介します

新着本情報



『60代70代80代をうまく老いる健康養生法』

▶著者 木村容子
▶出版 さくら舎

加齢にともなうカラダとココロの変化を受け入れ、老化をゆるやかにする漢方の養生法を、東洋医学の医師が解説する。



『落語家の本音』

▶編者 「東京かわら版」編集部
▶出版 朝日新聞出版

創刊 50 年を迎えた「東京かわら版」の巻頭インタビューから厳選した、昭和の名人から現役の噺家さんたちの本音の言葉を紹介。



『つなぎごはん』

▶著者 新谷友里江
▶出版 誠文堂新光社

こどもが園や学校から帰ってきてから晩ごはんまでの時間をつなぐ栄養たっぷりのごはんを「はらぺこ度」ごとにレシピを紹介。

Library info

☎82-0874

開館時間 午前 10 時～午後 6 時
月曜日・祝日休館

3月、4月の休館日

●3月 10.17.20.24.31

●4月 1.7.14.21.28～30

図書館からのお知らせ

雑誌リサイクル &ひと箱市



図書館の保存年限が切れた雑誌や、個人が所有していた本の中から、読みたいものを無料で譲り受けることができるリサイクル市を開催します。

- 日時 ・3月29日㊥
午前 10 時～午後 5 時
- ・3月30日㊦
午前 10 時～午後 3 時

●場所 さよう文化情報センター
リハーサル室

※営利目的での利用はできません。

※持ち帰る袋をご持参ください。

※本を出したい人は事前申込みが必要です。

詳しくはお問合せください。

おはなし会



■ボランティア「あそばせ隊」

- 対象 幼児・小学生
- 日時 毎週土曜日
午後 2 時～2 時 30 分

■図書館司書

えほんの会

4月からリニューアル

- 対象 2～4 歳、その保護者
- 日時 毎週日曜日
午前 10 時 30 分～11 時

ストーリーテリングの会

- 対象 5 歳～
- 日時 毎週日曜日
午前 11 時～11 時 30 分

※3月は今までどおりのおはなし会です

イベント

event information

光都チューリップフェア

光都チューリップ園に今年も約4万本のチューリップが咲き誇ります。今年も、花畑でイラストを描くフラワーアートも楽しめます。

●開園予定日 4月1日㊤

※開花状況により変更する場合があります

●開園時間

午前9時～午後5時

●入園料・駐車料 無料

☎播磨高原広域事務組合

☎0791-58-0575

光都ふれあいウォーク

播磨科学公園都市内を、約2時間かけてウォーキングし

ます。

●日時 4月13日㊤

午前8時30分集合

●申込方法

申込みは、ファクスやメールなどで受け付けます。詳しくは、ホームページを確認してください。



☎播磨高原広域事務組合

☎0791-58-0575

募集

invite information

パソコン講座 受講生募集

らくらくスマホ講座

●日時 3月23日㊤

①午前10時～正午

②午後1時～3時

※いずれも同じ内容です

●場所

上月地域交流センター

●受講料 1回500円

●募集人数 各5人ずつ

●持参物 パソコン、シニアスマホ、スマホとパソコンをつなぐケーブル、Googleアカウント(メールアドレス、パスワード)

●申込期限 3月15日㊤

☎生涯学習課 ☎82-3336

ひめじ若者サポートステーション

就職への不安や悩みを持った若者や保護者を対象に、個別相談会を開催します。

●日時 3月25日㊤

午前10時～午後1時まで

(1人1時間程度)

●場所 役場本庁西館

戸籍の窓口

ii人のうごき

2月10日現在()内は前月比

人口	14,673人	(-40)
男	7,098人	(-17)
女	7,575人	(-23)
世帯数	6,732戸	(-17)

出生	5人	死亡	43人
転入	22人	転出	24人

1月1日から2月10日届出分(敬称略)
戸籍上の漢字が表記できない場合があります

お誕生おめでとう

名前

保護者

行政区

個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

名前

年齢

行政区

個人情報のため非公開

1階研修室

●募集人数 3人

※予約制で先着順です。

☎商工観光課

☎82-0670

障がい者学級の学級生と 介助者を募集します

町は、障がいのある人が教養を深め、日常生活を豊かにする障がい者学級を開設します。

くすの木学級

聴覚障がいがある人の学級

青い鳥学級

視覚障がいがある人の学級

●内容 年4回程度、工作や料理などの体験教室や町外への館外研修、芸能鑑賞などを行います。

●年会費 無料

※教室の内容により実費がかかる場合があります。

●申込方法 生涯学習課へお問合せください。

☎生涯学習課 ☎82-3336

イベントの裏側が見れます ホールボランティア を募集しています

さよう文化情報センターやスピカホールで開催するホールイベントのボランティアスタッフを募集しています。

●内容 イベント運営補助(チケットもぎり、受付、客席案内、音響照明操作、会場アナウンスなど)

●条件 18歳以上

☎生涯学習課 ☎82-3336

町シルバー人材センター 会員募集

町シルバー人材センターで、あなたの知識と経験を生かしてみませんか。町内在住の60歳以上で、健康で働く意思のある人、余った時間を活用して収入を得たい人を募集しています。入会を希望する人は、シルバー人材センターへお問合せください。

☎町シルバー人材センター

☎82-3630

お知らせ

information

マイナンバーカード受付 今月の日曜開庁日

●日時 3月9日㊤

午前9時～午後3時

●場所 住民課

☎住民課 ☎82-0660

マイナンバーカードで 住所変更の手続きを簡単に

町外への住所変更の手続きがオンラインでできる「引越しワンストップサービス」が利用できます。

町から転出するときに、こ

のサービスを利用すれば窓口での手続きが不要になります。※後日郵送対応が必要になる場合があります。



詳しくは
デジタル庁
ホームページへ

☎住民課 ☎82-0660

HPVワクチンのキャッチ アップ接種の期限が条件 付きで延長されます

HPVワクチンの接種の機会を逃した人のための「キャッチアップ接種」の期限が延長になりました。

●対象 ※いずれも満たした人

・令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間の期間中に1回以上接種している

・平成9年4月2日から平成21年4月1日までの間に生まれた女性

●期間

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

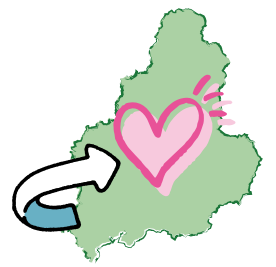


詳しくは
厚生労働省
ホームページへ

☎健康福祉課 ☎82-0661

編集後記

2月上旬は最強寒波の影響で町内でも氷点下となる日が続きました。その影響で櫛田の飛龍の滝が凍る「氷瀑」を見ることができました。広報紙では掲載できませんでしたが、町のInstagramで投稿していますので、ぜひこれを機会にフォローをお願いします◆取材した「光月いちご園」は、いちご狩りを通し佐用町に多くの人を呼び込もうとする情熱に心打たれました。直売のほか、味わいの里三日月でも販売されていますので、ぜひ一度ご賞味ください㊤



Uターンで活躍する若者たち

私が佐用を好きな理由

Vol.6

いちご狩りの拡大で佐用町に若者を



光月いちご園 吉田 明生(24)下秋里

新しく輝くビニールハウスの扉を開けた瞬間、ふんわり漂う甘く華やかな香りに包まれ、眼前に無数のいちごが広がります。その中で、一心不乱に手入れを施しているのは、昨年1月に下秋里で「光月いちご園」を開業した吉田明生さんです。

佐用高校普通科を卒業後、プログラミングへの興味から専門学校へ進学した吉田さん。すでに就職内定を得ていたものの、昼夜逆転しがちな生活に疑問を抱き、「このままで良いのだろうか」と悩む日々を送っていました。そんな折、帰省中に父の農業を手伝ったことが転機となります。

「農業を始めると、心地よいリズムと規則正しい生活が生まれるんです」と語る吉田さん。新たな日常の中で、これまでとは違う自分を実感したのです。周囲の後押しもあり、一念発起して県立農業大学校でいちごの育成を学び、起業しました。

初めは知名度が低かったため、「量より質にこだわろう」と情熱をもって研究を重ね、近隣ではあまり育てられていない『おいCベリー』にたどり着きました。「完熟の時はとにかく甘いんですよ」と自信をにじませます。「今後は、品質を追求しつつ、家族連れや遠方からの若者にも楽しんでもらえる『いちご狩り』を佐用町で拡大していきたい」と吉田さん。担い手不足が課題の町で、町の活性化も志すフレッシュな挑戦が続きます。

SHOP データ

- **営業期間**
12月～5月末まで
- **営業時間**
[販売]
午前9時～午後3時
[いちご狩り] ※要予約
午前9時～午後2時
- **定休日**
毎週木曜日

※いずれも生育状態により変更となる可能性があります。

☎ 090-3941-4115



発行 ● 佐用町
編集 ● 佐用町広報委員会

佐用町役場 情報政策課広報室
兵庫県佐用郡佐用町佐用2611番地1

☎ 0799-00820600

広報さよう

2025年3月号

「広報さよう」は、環境にやさしいベジタブルインキ（植物油）と再生紙を使用しています。今月号の印刷費は、1部約24円です。